

滝根

調査活動状況 2008.04-07
東京大学大学院・北沢研究室

田村市と東京大学空間計画研究室(北沢猛教授)は、船引地区(旧船引町)に加えて今年度からは滝根地区(旧滝根町)でも調査を行っています。目標は「滝根まちづくり基本方針」。東京大学からは修士課程2年生2名と1年生2名の計4名で活動しています。各地区を視察しながら地域資源や空間構造などを理解しようとしています。住民の方々に案内をいただいたこともあります。ヒアリングに加え、様々な世代を対象としたワークショップも予定しています。これらの調査を通して滝根地区の課題と可能性を把握し、提案に繋げていきます。調査はまだ始まったばかりです!

<これまでの活動経緯>

2008.04.24-25

滝根地区(菅谷、神保、広瀬)の視察

2008.07.01-04

空間構造及び集落調査(菅谷)、ヒアリング



民家視察の様子



滝根空間構造図の作成

<調査内容>

ヒアリング調査

住民や商工会をはじめ、大字会や住民団体など様々な方にお話を伺っています。生活スタイルや住まい方、地域の情報は調査に反映し、提案につなげていきます。地域資源調査

ヒアリングや視察をもとに、地域資源を探しています。鍾乳洞も探検しました。

空間構造と集落調査

地域の空間構成や集落の形態を調査しています。集落については家屋や屋敷の形態、配置、間取り、植栽などを細かくスケッチし特徴やパターンを見出します。

※その他にも各種図面を駆使した検討や文献調査を進めています。



(写真) 1. 雄大に広がる農地と山裾の集落 / 2. ため池 / 3. 4. ヒアリング調査の様子 / 5. 鍾乳洞探検 / 6. 研究室メンバー(一部) / 7. 畑と背後の集落、山の美しい眺望 / 8. 道端の花